

県民の命と暮らし、医療を守るための共同メッセージ — 「緊急事態宣言」の発令にあたり—

県民の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

また、医療や感染症対策に従事する方々をはじめ、私たちの生活を支える仕事に従事する方々など、感染リスクに直面しながら最前線で御尽力いただいているすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

本県の1日当たり新規感染者数は連日過去最高を更新し、100人を超えました。まさに県内全域で爆発的に感染が拡大している状況です。

私たちは今、「歴史的な危機」に直面しています。

自分は大丈夫だ、コロナは他人事だと思わないでください。私たち一人ひとりが、この危機的な事態を自分のこととして受け止めなければ、感染を抑えることはできません。

一人ひとりの命と暮らしを守り、地域医療を守るため、県民が心をついに、一丸となって最大限の感染防止に取り組んでいきましょう。

1 危機的な状況にある医療を守りましょう。

すでに医療現場には大きな負担がかかっており、更なる感染拡大でこれ以上の負担が加わると、医療崩壊を招きかねません。感染防止を徹底し、地域医療を守りましょう。
また、誤解や偏見に基づく医療従事者等に対する心ない言動をやめましょう。

2 一人ひとりができる感染防止行動を徹底しましょう。

大切な家族や地域の暮らしを守るため、感染拡大を防止するための「新しい生活様式の実践」、例えばマスク着用・手指消毒・3密回避、「みやざきモデル」による会食の実施、テレワークや時差出勤などに取り組みましょう。

3 感染拡大を抑制するための移動自粛を徹底しましょう。

人から人への感染リスクを抑えることが重要です。可能な限り人との接触機会を減らすため、極力、外出の自粛や県外との往来自粛など移動自粛を徹底しましょう。
また、思いやりの心をもって、親しい友達と会うことも今は我慢しましょう。

4 感染拡大防止のためのガイドライン遵守を徹底しましょう。

事業者の皆様は、感染拡大防止のためのガイドライン遵守を徹底し、安心して利用いただくことができるよう、今一度、十分な対策が講じられているか確認しましょう。

令和3年1月8日

宮崎県知事	河野 俊嗣
宮崎県市長会会長	戸敷 正
宮崎県町村会会長	黒木 定藏
宮崎県医師会会長	河野 雅行
宮崎県看護協会会長	中武 郁子